



愛知中部水道企業団広報

ふれっしゅ水道

No.54

2015/10

年4回発行

1月・4月・7月・10月

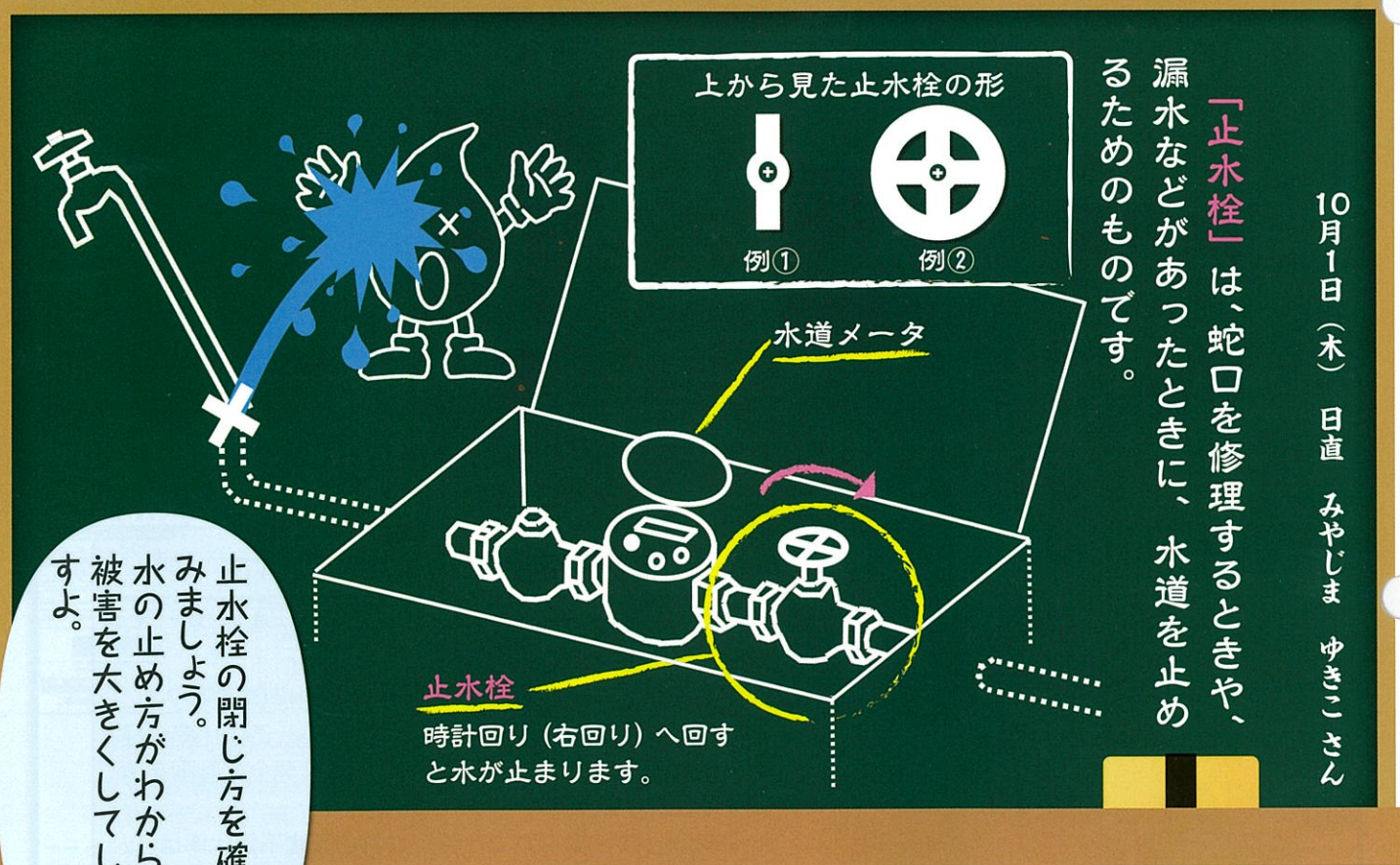
特集

タップ先生の水道授業

連載

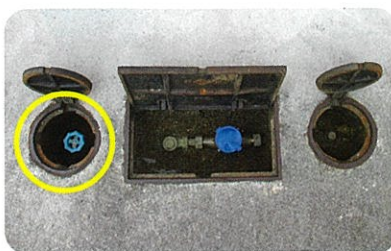
3/4

～ 3 時間目 止水栓の閉じ方 ～



10月1日(木) 日直 みやじま ゆきこさん

メータボックス内の止水栓 (戸建て・2階建て集合住宅)



○止水栓の
実際の写真

※ 3階建て以上の集合住宅は、パイプシャフト内に止水栓があります。

タップ先生





平成 26 年度 決算報告

第2回愛知中部水道企業団議会定例会が7月30日に開催され、平成26年度決算が認定されました。

◆給水人口 312,160 人

◆給水戸数 123,919 戸

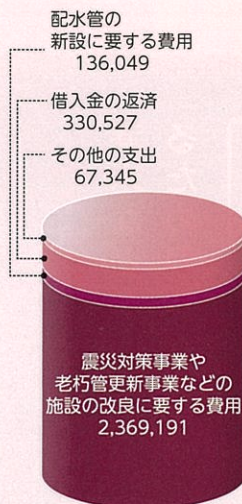
◆年間総配水量 33,720,888 m³

資本的収支

消費税を含む
(単位：千円)

支出総額
2,903,112

収入総額
892,185



その他の収入
300,782

国からの補助金
39,582

不足額
2,010,927

収支不足額は、収益的収支で発生した純利益の積立や減価償却費等現金支出をともなわずに、内部に留保されている資金などで補てんしました。

工事負担金
551,821

水道施設を整備、拡充するための経費とその財源

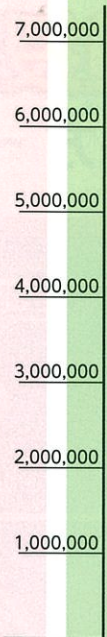
収益的収支

消費税を除く
(単位：千円)

支出総額
5,724,393

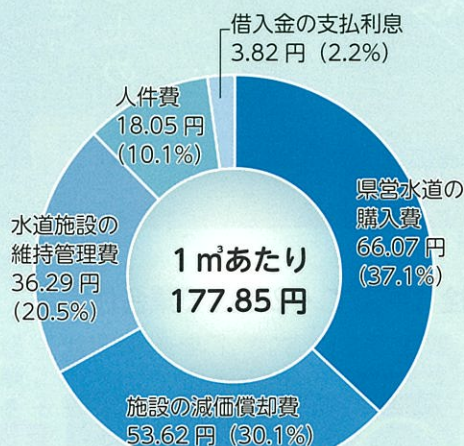
収入総額
6,715,016

(単位：千円)



ご家庭に給水するための経費とその財源

○安全でおいしい水を安定的にお届けするために、1 m³ あたりにかかる費用



資金不足比率の公表について

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、資金不足比率を公表します。

資金不足比率とは、資金不足額が事業規模(料金収入)に対してどの程度の割合かを表す比率であり、その比率が経営健全化基準以上となった場合には、経営健全化計画を策定することが義務付けられています。

平成26年度決算に基づき算定された資金不足比率は、以下のとおり、経営健全化基準を下回っており、健全な経営状況といえます。今後も健全な経営状況を維持するよう努めていきます。

指 標	愛知中部水道企業団の比率	経営健全化基準
資金不足比率	－ %*	20.0 %

*資金不足額がないため、資金不足比率を「－ %」と表示しています。

○お問い合わせ先 経営企画課



企業団議会から

○お問い合わせ先 議会事務局

平成27年第1回愛知中部水道企業団議会臨時会が5月26日に開催され提出議案1件が原案どおり可決されました。

議案第3号 愛知中部水道企業団監査委員の選任について

平成27年第2回愛知中部水道企業団議会定例会が7月30日に開催され提出議案1件が原案どおり可決されました。

議案第4号 平成26年度愛知中部水道企業団会計利益処分及び決算の認定について

平成26年度 行財政改革の実施状況について

本企業団では、平成12年に「行財政改革大綱」を定め、住民サービスの向上および健全で効率的な経営をめざして事務事業全般にわたり、行財政改革を進めています。

つきましては、平成26年度の行財政改革の実施状況についてお知らせします。

なお、詳しい内容につきましては、本企業団ホームページに掲載しています。

これまでの取り組みと平成26年度における削減効果

● 事務事業の再編・整理・廃止・統合による削減効果 7,859万円

【主な内容】

- ・ 内部留保資金の活用により企業債の借入れの抑制による利息の軽減をしました。
- ・ 建設投資資金を国債により運用しました。
- ・ 設計積算システムの見直しにより、システムの維持管理費を削減しました。
- ・ 企業債の繰上償還および借換により、支払利息を軽減しました。

● 経費節減等財政効果による削減効果 3,189万円

【主な内容】

- ・ 公用車を1台削減しました。
- ・ 人件費の抑制をしました。(職員数 101人→97人)

○お問い合わせ先 総務課

↑ 変更後の納入通知書 ↑

(使用水量のお知らせと)
同じタイプの紙

↑ これまでの納入通知書 ↑

(ハガキタイプ)

納入通知書の一部変更について

10月検針分から納入通知書の様式と、お届け方法を一部変更します。

変更の対象となるお客さまは、水道料金等を納入通知書でお支払いしていて、水道の使用場所と納入通知書の送付先が同じ方です。

お知らせ

水道料金等のお支払いには、便利な口座振替をおすすめしています。

○お問い合わせ先 営業課

※使用水量に大幅な変動がある場合や、過払金などがある場合は、これまでと同じハガキタイプの納入通知書を郵送します。

該当項目欄
(レ点でチェック)

↑ 納入通知書を入れる封筒 ↑

※封筒は、中に入っている書類によって、該当項目欄にチェックを入れます。

※新しい納入通知書は、「使用水量のお知らせ」と同じタイプの用紙になります。

※検針時に、検針員が水道料金等を集金することはありません。

これまでは、検針月の翌月に、ハガキタイプの納入通知書を郵送していましたが、変更後は、検針員が検針時にその場で発行して、封筒に入れて郵便受けなどに投かんじます。



ニュース

第17回『水源の森応援隊』
森林整備活動報告

6月13日(土)、長野県木曾郡大桑村にあるフォレスパ木曾にて、第17回『水源の森応援隊』森林整備活動を実施しました。

81名の方に参加いただき、下草や雑木を除去しました。

日差しが強く蒸し暑い中でしたが、そんな暑さにも負けないくらいみなさま元気に作業に取り組んでいました。

昼食休憩中には、アルプホルンやヒノキ三味線の音色に耳を傾け、午後には、バードコールを作りました。

バードウォッチングにはかかせないバードコール



アルプホルンの演奏

応援隊による森林整備活動は、水源地の自然環境を保護するためにも、重要な活動です。これからも継続して行っていく予定です。

○お問い合わせ先 総務課

『水とふれあう親子ツアー』
実施報告

8月15日(土)に親子イベント『水とふれあう親子ツアー』を実施しました。

今年で6回目となった今回のツアーは、13組37名の親子にご参加いただき、瀬戸市にある、生態水文学研究所赤津

『自由研究お助け団(夏休み子ども教室)』
実施報告

8月3日(月)、4日(火)に『自由研究お助け団(夏休み子ども教室)』を実施しました。今年もたくさんの方の応募をいただき、両日で合計36組87名の親子と実験を行いました。今回は、『浮沈子』を作り、浮き沈みの謎に迫りました。



浮沈子の完成品

研究林で、源流体験や水生生物の観察を行いました。



源流体験では、植物や昆虫、地形の説明を聞きながら源流を目指し、貴重な水の一滴を見ることができました。

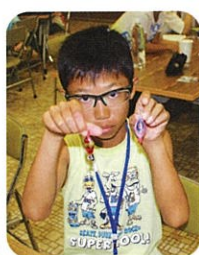
水生生物観察では、冷たく澄んだ水辺で、普段なかなか見ることができないサワガニやカゲロウなどの生き物を見られました。大人も子どもも自然を満喫した一日となりました。



たくさんの水生生物を発見!!

○お問い合わせ先 総務課

また、浮沈子を使って釣り大会をしたり、最後に実験のまとめクイズをしたりして、みんなで浮き沈みの謎を解き明かしました。



オリジナルの浮沈子ができたね



○お問い合わせ先 総務課

編集後記

以前、それは見えた。秋の空の下、黄金色に輝く姿。息をのむほど美しく、今でも鮮明に思い出せます。私のなかで、秋の色は黄金色。秋の印象的な色。夏と冬に挟まれて、なかなか短く感じる秋。だからこそ印象に残るような経験をしたい。知識や感性をたわわに実らせたい。(ヒラマツ)



発行 愛知中部水道企業団

(豊明市・日進市・みよし市・長久手市・東郷町)

編集 総務課

電話 0561(38)0030 FAX 0561(38)3134

Eメール soudou01@suidou-aichichubu.or.jp

〒470-0153

愛知県愛知郡東郷町大字和合字北蚊谷212

ホームページ <http://www.suidou-aichichubu.or.jp>